

222 社殿 **青井阿蘇神社 本殿・廊・幣殿・拝殿・楼門** 江戸時代(1610～1613)

本殿:三間社流造 銅板葺(1610年) 廊:桁行一間 梁間一間 切妻造 銅板葺(1610年)

幣殿:桁行五間 梁間三間 寄棟造 茅葺(1610年)

拝殿:桁行七間 梁間三間 軒は出桁造 寄棟造 茅葺 正面向拝(1611年)

楼門:三間一戸楼門 寄棟造 茅葺(1613年)



楼門 拝殿 幣殿



本殿



拝殿



拝殿内部

青井阿蘇神社は、鎌倉初期(建久9年/1198)から球磨地方を治めた相良氏の氏神として崇敬を受けた。人吉市街を流れる球磨川の北岸に位置し、大同元年(806)阿蘇神社の分霊を勧請して創建されたと伝えられる。現在の社殿は、慶長15年(1610)以降相良氏によって整備されたものである。境内の奥に本殿が南面し、その前に廊、幣殿、拝殿が連続し、前方に楼門が建つ。各社殿は、中世球磨地方に展開した独自性の強い意匠を継承しつつ、桃山期の華麗な装飾性も取り入れており、近世球磨地方における社寺造営の規範となっている。また、本殿前面の雲龍など要所を飾る秀麗な彫刻、特異な幣拝殿形式などは、広く南九州地方にその影響が認められ、南九州における近世神社建築の発展において、深い文化史的意義が認められる。平成20年国宝に指定された。

熊本県人吉市上青井町118 0966(22)2274 JR人吉駅から西南約200m徒歩約5分
人吉ICから車で約10分 駐車場有 境内自由